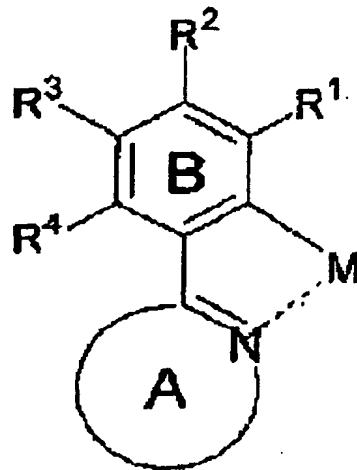




2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(57) 要約:

本発明は、一般式 (I)



(I)

[式中、構造Bは、R<sup>1</sup>～R<sup>4</sup>を有するベンゼン環残基であり、R<sup>1</sup>～R<sup>4</sup>は、それぞれ独立に、H等を表し、R<sup>1</sup>～R<sup>4</sup>のうちの少なくとも1つはCN基である。また、R<sup>1</sup>とR<sup>2</sup>、R<sup>2</sup>とR<sup>3</sup>、R<sup>3</sup>とR<sup>4</sup>は、互いに結合して環構造を形成していてもよい。構造Aは、少なくとも1つのC=N結合を含む炭素数3～20の環構造を表し、置換基を有していてもよく、前記R<sup>4</sup>を含んで環構造を形成していてもよい。Mは、I r、R h、P t又はP dである。] で表される部分構造を有する金属錯体化合物を提供し、並びに、一対の電極間に少なくとも発光層を有する一層又は複数層からなる有機薄膜層が挟持されている有機エレクトロルミネッセンス素子において、該有機薄膜層の少なくとも1層が前記金属錯体化合物を含有し、両極間に電圧を印加することにより発光し、発光効率が高く、長寿命な有機エレクトロルミネッセンス素子を提供する。